

「故郷延岡に恩返しがしたい」 ～ふるさとへの熱い思いが奇跡の堤防を産んだ～

思い

軌跡



満開の桜と菜の花で賑わう堤防沿い(延岡花物語)

【主な活動実績】

- 平成21年3月～平成23年3月 河津桜の植樹
- 平成21年7月 天下一ひむか桜の会設立
- 平成21年秋より毎年 菜の花の植栽
- 平成28年2月 コノハナロード市民応援隊を結成

天下一ひむか桜の会 代表

松田 庄司

「いつの日かふるさと延岡に桃源郷を！」

ふるさと延岡に名所をつくって恩返しがしたい。昔の賑わいを失いかけたふるさとに、遠く離れた同級生の声を受け、平成21年から3年間にわたり、五ヶ瀬川堤防沿い延長2.3kmに河津桜300本を植えた。平成21年より毎年、菜の花の種をまき、美しい花の空間づくりを進めてきた。

憩いの空間を創出

延岡市で植栽を行った場所は、360° パノラマで陽がサンサンと降り注ぐ場所。春の麗らかな日差しに、ピンクの花びらが、より色鮮やかに映え、早春の観光イベント「延岡花物語」の会場に選ばれるまでになった。

活動における苦勞と工夫

自然に木は育つものと考えていたが、根腐れをおこしたり、水やり等々苦勞の連続だったが、市民や行政の応援も加わり、続けることができた。今では、多くの市民が参加する新たな協力団体「コノハナロード市民応援隊」を結成し、彼岸花やコットン等も植え、四季を通じて、市民が楽しめる憩いの空間づくりを目指している。

これからの抱負

市民が楽しんで活動できる空間づくりは、高齢者、障害者、幼保園の団体は勿論、多くの人の生きがいづくりにもなっている。「天下一ひむか桜」は、まさしく延岡再生の第一歩、大木となり、満開に花開くまで、ふるさとの活性化のため、活動を続けていきたい。



河津桜の植樹



早春の延岡の風物詩となった



松田 庄司
(年間250日も汗を流す)